

輪之内町立大藪小学校で防災講座を行いました

令和6年10月28日（月）、輪之内町立大藪小学校で5年生41名に防災講座を行いました。学校は長良川と揖斐川に挟まれています。この講座は昨年に引き続き2回目となります。

講座では、今年65年を迎えた伊勢湾台風や昭和51年9.12豪雨災害など過去の水害、近年頻発する線状降水帯などについて学習しました。線状降水帯は皆さん知っており、実際に線状降水帯が発生した時の降水量を見た際には、予想以上の雨量の多さに恐ろしさが伝わった様子でした。

「堤防の材料は何か？」という質問には、コンクリートと答える児童が多く、土でできていることですぐに直せることを説明すると、驚きながらも納得した様に頷き、理解を深めていました。

講座の最後には、「災害の恐れがあるときは、早めに避難することが大事だと分かりました。」「守れる命を落とさないということがよく分かりました。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、岐阜新聞、輪之内町の広報に取材頂きました。

